東北

◇ 仙台支局 ◇
仙台市青葉区本町２丁目10-33
第2日本オフィスビル9階
☎022(227)0685
FAX022(224)7485

宅配水事業
口コミ生かし拡張
タプロス スタッフ募集開始

タプロス（本社・秋田市、木村繁社長）は宅配水事業を拡張するため、主婦などをメンバーとした口コミ普及員「たぷろんスタッフ」の募集を始めた。口コミによる宣伝・情報波及力を生かし、メンバー同士の交流も促して〝タプロスのファンによるサークル〟に育てていきたい意向だ。

たぷろんスタッフは、水のサーバーの設置先紹介と試飲デモンストレーションを行う。サーバー設置先を紹介すれば報酬がもらえ、5件紹介するごとにボーナスももらえる。

試飲デモはスーパーマーケットやフィットネスクラブ、温浴施設などで行う。同社は、これらを空いた時間を活用しアルバイト感覚でやってみてはどうか、と2月からホームページなどを通じて募集している。

同社は昨年から本格的に宅配水事業を始めた。CMをテレビやラジオで流し、社員が各地でデモンストレーションを行うなどしてサーバーの設置先を拡大。顧客数は現在、約600戸になっている。拡大策を一歩進めるため、たぷろんスタッフを用いる作戦に出た。

同社では、ランチ研修会などを開いてスタッフ同士の交流を促していく考えだ。昨年12月にオープンした由利本荘営業所「たぷろんハウス」には料理教室も行えるコミュニティスペースを設けたが、このスペースを率先して活用して同社と地域をつなぐ役割を担えるような、そんな人たちの集まりにしていきたい意向だ。

スタッフ希望者を対象とした初めての説明会は1月末に行い、秋田市エリアで既に7人がメンバーになっている。現在、本格的にメンバーを募集しており、その輪を秋田全県に広げる考え。

福島県業界
官民挙げ保安強化
保安C連絡協 県・県協会と懇談

福島県LPガス保安センター連絡協議会（櫛田忠夫会長）の呼びかけに応じ、同協議会と県消防保安課、県LPガス協会（佐藤允昭会長）の3者が2日、福島市の県LPガス会館で懇談を行った。県業界の保安のあり方を見直し、事故ゼロの実現と保安レベル向上に向けて連携を図っていくことで合意した。

保安センター連絡協は今年度、専門委員会をつくってアンケート調査を行うなどし、保安センターのあり方を検討。その結果、県内に六つある保安センターは、調査業務内容や料金を統一化する方向に向かうべきだとする報告書をまとめた。

これを実現するためには、県業界全体の保安意識を変えることが必要で、そのためには県LPガス協会、行政と連携しなければならないとも指摘している。懇談は、これを受けて保安センター連絡協が県と県協会に呼びかけて実現した。

この日は県協会の保安部会の開催日。部会終了後に懇談を行った。県からは消防保安課の高野敏行主査が出席。協会からは保安部会のメンバー8人と佐藤会長、和田孝夫専務理事、保安センター連絡協からは検討委員会の座長を務めた吉田正明・会津LPガス保安協組専務理事ら3人が出席した。櫛田会長も保安部会担当副会長の立場で参加した。

初めての懇談だったこと

報告書の説明を行う吉田・会津保安協組専務理事（左端）

1月末に行い、秋田市エリアで既に7人がメンバーになっている。現在、本格的にメンバーを募集しており、その輪を秋田全県に広げる考え。

から、保安センター連絡協検討委員会がまとめた報告書の内容説明が中心となった。販売店アンケートの結果から▽販売店が保安に不安を感じている▽立ち入り検査時には保安センターや卸売事業者から助けを受けている▽その一方で保安講習会への参加水準が低い――などの実情を挙げ、保安のあり方を県業界全体で見直す必要があると提案した。

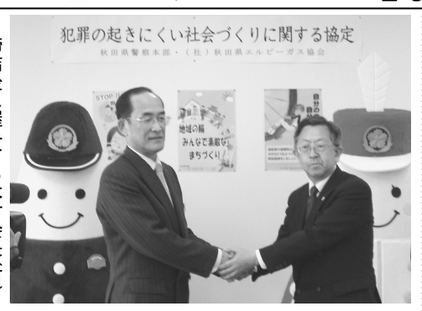
これに対し、嶋勇吉保安部会長は「保安部会として、事故をゼロにするために何ができるかを考えていきたい」と応じた。佐藤会長も「事故ゼロは最大の目標。この目標を大前提にして協力していきたい」と述べた。

高野・県消防保安課主査は「事故防止のためなので積極的に協力していきたい」とし、さっそく「立ち入り検査などを直接担当する出先の職員らと意見交換する場を設けることは可能だ」と応じた。

県協会は昨年、ビジョン検討委員会を設け、協会のあるべき姿や活動の方向性などについてまとめた。その中で、保安については「自主保安意識の高揚」などの取り組み課題が挙がっており、今回の連絡協からの提案の目指すところと重なる部分が多い。連絡協と県、協会の3者の連携で県業界全体の保安のあり方を見直し、「事故ゼロ」「安心安全」を実現できるか注目される。

中部

◇名古屋支局◇
名古屋市中村区那古屋１-38-１
星光桜通ビル５階
☎052(566)2290
FAX052(566)2291



締結後に握手する木村会長（右）と近藤・県警生活安全部長

秋田県協、治安に一役
犯罪起きにくい社会へ
県警本部と協定締結

秋田県LPガス協会（木村繁会長）は3日、県警本部と「犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定」を締結した。昨年12月にLPガス協会と警察庁が同協定を結んだことを受けたもの。

協定は、LPガス事業の従事者が配送や検針、保安業務などの際に事件・事故に遭遇またはその前兆を察知した場合、警察に連絡するなどして地域社会の防犯に協力するという内容。市街地から山間部まで広範囲に広がる消費先を日常的に訪問する業態を生かす。秋田県では現場業務に約250人が携わっている。

同日、県警本部で締結式を行い、県警本部の近藤貞夫生活安全部長と木村会長が協定書に署名押印した。この後、木村会長が「日常業務を通じて県内各地域の家庭への訪問機会を最大限に活用し、通報や声かけ、保護活動に協力して犯罪の起きにくい社会づくりに協力する」と決意表明した。

県警側から協会に呼び掛けがあり、締結に至った。締結式も県警が段取りし、地元メディアに発表したため、新聞やラジオで大きく取り上げられた。木村会長はメディアからのインタビューに「電気は各家庭と電線でつながっているが、LPガスは人と人でつながっている」と応えた。

愛・三・岐Gライン
電化対策さらに強化
レンジフードの交換軸に

愛・三・岐Gライン（神谷秀樹委員長）は2月28日、名古屋市の今池ガスビルで委員会を開き、電化対策の強化を軸とする平成23年度活動計画を策定した。神谷委員長と、各県LPガス協会の副会長を務める髙田哲良、伊藤正、丹羽成一の各副委員長ら委員16人、事務局員ら8人が出席した。

23年度は①電化対抗支援策②セミナー③販売キャンペーン――を柱に活動を展開する。電化対抗を目的に「レンジフードの取り替え推進」を前面に打ち出す方針。

同委員会は管内でのオール電化の侵攻状況について、訪販業者の活動は一部沈静化の傾向が見られる半面、大手家電メーカーのCM、家電量販店などのチラシ攻勢に加え、最近ではハウスメーカーの電化リフォームや電話勧誘業者が増加していると分析。電化勧誘活動が広がり、全方位で電化の脅威にさらされているとしている。

特にパナソニックの動向を注視。同社がIHクッキングヒーターとレンジフードとのセット提案で攻勢をかけると見ており、6月以降はポストデジタルテレビ対策としてIHの普及を本格化させると警戒している。この提案先として、廣澤講師は▽ガスこんろと灯油ボイラーを使用している家庭▽ガスを大量に使用しているヘビーユーザー――を中心に活動を展開してほしいと強調。灯油ボイラー設置先は電化に狙われやすく、大量にガスを使用しているユーザーは潜在的な不満層で、すぐに燃転してしまいやすいという。「燃転される前にエコワンを提案し、光熱費ダウンか床暖設置による快適生活提案をしてほしい」とした。

設置事例やノウハウを聞いた

省エネ提案拡充へ
福井ツバメ「エコワン」研修会

中村昌敬氏

廣澤寛二氏

福井ツバメ商事（本社・福井市、藤野拓三社長）はLPガスによる環境提案活動を強化しようと4日、本社会議室でハイブリッド給湯器「エコワン」の研修会を開いた。販売店や直売担当者ら約30人が集まった。

エコワンの研修会は2回目。今回は改めて機能を説明し、最新のデータ、設置事例などを提供した。講師は廣澤寛二・リンナイ福井営業所長。

中村昌敬販売店部長は「世帯数の減少、競合エネルギーの侵攻など非常に厳しい経営環境だ。われわれは環境戦略の一環で、エコワンを打ち出していきたい。昨年春の勉強会は製品説明にとどまったので、今回は最新データを交えて情報を提供したいとあいさつした。

廣澤講師は「福井県はオール電化普及率が全国1、2位のレベル。全世帯の5件に1件がオール電化で、新築も9割がオール電化になっている。このままでは、10年後には3割までオール電化に侵食されてしまう。電化に勝てるのがエコワンだ」として、設置事例を挙げて解説した。

料理番組スタート
日本海ガス、4月から

昨年の13編を収めたDVD

日本海ガス（本社・富山市、新田八朗社長）は4～6月の3カ月間、昨年に続き富山テレビ放送の料理ミニ番組「沢樹舞のおいしい時間」のスポンサーとなる。

昨年も10月6日～12月29日、毎週水曜日の午後9時54分から10時までの5分間に13番組を放送した。

昨年は、富山テレビが制作したミニ番組としては歴代最高の視聴率15%超を記録。日本海ガスも制作に加わり、手軽でしかも斬新な料理、さらに美しい映像をもとにした内容が評判を呼び、女性を中心に幅広い層の支持を集めた。今年は4月から放送をスタートする。

昨年視聴率
〝ミニ番〟最高の15%超

番組でプレゼンテーターを務める沢樹さんは地元富山県出身で、国内外でモデルとして活躍。ウェブサイトの「たべるの」を主宰している。

日本海ガスはこのほど、昨年の全13番組をDVDにまとめた。最新のビルトイン蒸しなどを紹介した。

同社では「おしゃれな映像と簡単なレシピが受けたのではないか。4月からの放送でさらに関心をいただき、電化対抗の一助になれば」としている。

岡崎市に事務所建設
サイサン

サイサン（本社・さいたま市、川本武彦社長）が岡崎市に営業所を開設する。既に事務所開設手続きに入っている。

開設を機に、アパート・マンションなどの集合住宅や、戸建て住宅へのLPガス供給を開始する。

同社は東海以東の営業拠点として静岡支店浜松営業所を設置し、浜松地区まで商圏を拡大していた。岡崎に営業所を開設することで、愛知県に初めて進出する。

開設する事務所

6月値上げ申請
石巻ガス

石巻ガス（本社・石巻市、青木八州社長）は2月24日、経年ガス管の取り替え促進と製造原価の上昇を理由に、東北経済産業局にガス料金の値上げを申請した。新料金実施希望日は6月1日。

小口部門料金は5・96%、一般家庭が対象となる供給約款料金は6・65%の改定率。標準家庭（23立方㍍）の月間ガス料金は消費税別で338円高の5603円になる。

充塡の確認・供給の合理化・安全と企業のＰＲに――
小さなキャップで　大きな効果
24時間受注　FAX:０５３２(４８)２２０１
ニューＰキャップ　製造販売元
株式会社　名豊技研
豊橋市草間町字東山28
☎0532(45)4522　〒441-8141

ユーティック
UTIC®
火気との隔壁パネル

① 50kg容器 1本～2本の場合

UTIC-50P-R
50kg容器用隔壁パネル
火気の右側2m以内に50kg容器が有る場合の隔壁パネル
外寸法（最大）
幅240×奥行500×高さ1450
標準価格
¥15,000.－

UTIC-50P-L
50kg容器用隔壁パネル
火気の左側2m以内に50kg容器が有る場合の隔壁パネル
外寸法（最大）
幅240×奥行500×高さ1450
標準価格
¥15,000.－

② 20kg容器 1本～2本の場合

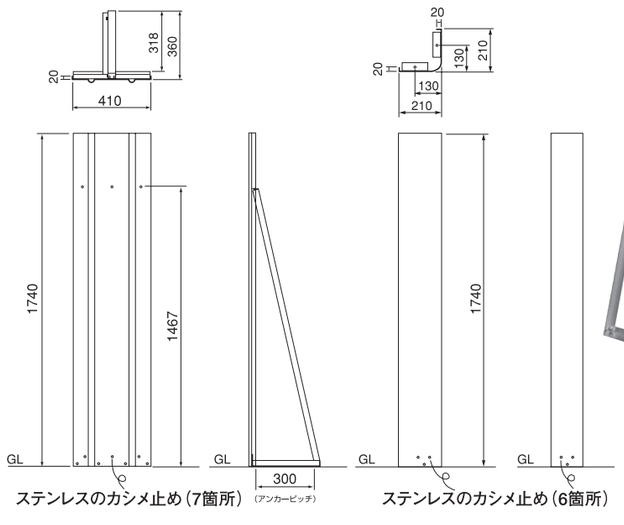
UTIC-20P-R
20kg容器用隔壁パネル
火気の右側2m以内に20kg容器が有る場合の隔壁パネル
外寸法（最大）
幅300×奥行420×高さ1040
標準価格
¥11,000.－

UTIC-20P-L
20kg容器用隔壁パネル
火気の左側2m以内に20kg容器が有る場合の隔壁パネル
外寸法（最大）
幅300×奥行420×高さ1040
標準価格
¥11,000.－

③ 50kg容器3本以上や バルク供給の場合等

FP-410　標準価格 ¥9,900.－
寸法
幅410×奥行360×高さ1740

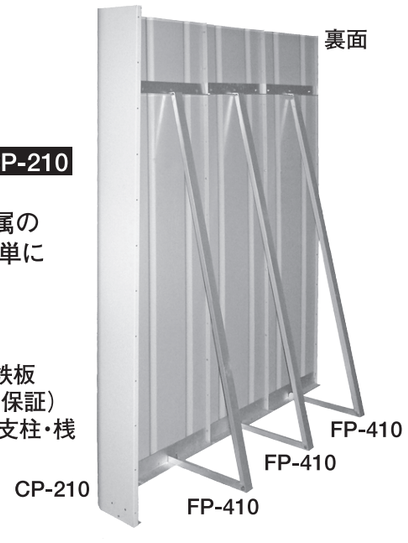
CP-210　標準価格 ¥8,300.－
寸法
幅210×奥行210×高さ1740



ユニットシステムですから
ユニットの組み替えでサイズが自由に変えられる！

設置例
例は FP-410 を3個と CP-210 を1個使用しています。
組立は、各ユニットを付属のボルトでつなぐだけで簡単に出来ます。

材質
ガルファンカラー鉄板
（赤サビ防止10年保証）
アルミ（A6063S）支柱・桟



※ 組み合せにかかわらず3個までは送料¥1,500.－の御負担お願い致します。

髙橋産業株式会社
〒615-8241　京都市西京区御陵谷町35-11
TEL（075）391-1011　FAX（075）391-1015
URL http://utic.jp　E-mail ts@utic.jp
ご注文は FAX フリーダイヤルで 1年 365日 四六時中 0120-1-365-46
お問い合わせは TEL フリーダイヤルで これ なーに? なーに? 0120-50-72-72